

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 美幌町社会教育委員会議 (第3回)
開 催 日 時	令和4年7月14日 (木) 18時30分 開会 20時35分 閉会
開 催 場 所	美幌町民会館 2階 会議室7・8
出 席 者 氏 名	委 員： 牛島委員長、杵師副委員長、酒井、伊藤、茂手木、宮崎、 寺田、國澤 各委員 (8名出席) 教育委員会： 矢萩教育長、遠藤教育部長、立花社会教育課長、浅野ス ポーツ振興課長、鬼丸博物館課長、竹花図書館長 (6名出席)
欠 席 者 氏 名	池田、辻、澤田、下山、西谷内 各委員 (5名)
事務局職員職氏名	野村社会教育グループ主査、山本文化振興グループ主査 (2名出席)
議 題	報告事項 (1) 各種研修出席報告 ①令和4年度 北海道市町村社会教育委員長等研修会 (第42回) 協議事項 (1) 令和4年度 美幌町社会教育委員の事業視察 (2) 令和4年度 美幌町社会教育委員の研究調査 その他
会議の公開又は非公開の別	公 開
非公開の理由 (会議を非公開とした場合)	
傍聴人の数 (会議を公開した場合)	なし
会議資料の名称	(1) 資料1 令和4年度 美幌町社会教育委員事業視察 視察可能事業一覧表 (2) 資料2 令和4年度 美幌町社会教育委員研究調査 (3) 資料3 各課課長・館長連絡事項 (4) 北海道市町村社会教育委員長等研修会出席報告資料 (5) 社会教育委員事業視察事業評価表 (6) その他 (ヤングケアラー、部活動の地域移行に関する資料、 各種事業募集チラシ等)
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

令和4年度 美幌町社会教育委員会議
(第3回)議事録

1 開 会

(牛島委員長)

皆様こんばんは。

定刻となりましたので、これより令和4年度第3回美幌町社会教育委員会議を開催します。本日は、大変お忙しいところお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、事務局より報告事項があります。

(立花社会教育課長)

報告事項を申し上げます。

本日の会議ですが池田委員、辻委員、澤田委員、下山委員、西谷内委員より欠席のご連絡をいただいております。

池田委員におきましては関谷委員の後任ということで今回が初めて出席の予定でしたが、あいにく修学旅行への同行ということでやむなく欠席となりました。次回10月、11月と先になります、それまでお待ちいただければと思います。

本日の会議は、美幌町自治基本条例第11条の規定に基づき、公開で実施いたします。

次に本日の会議の議案と資料の確認をさせていただきます。議案と資料ということで資料がたくさんあります。1つ目が資料1、社会教育委員事業視察可能事業一覧表と資料2、令和4年度社会教育委員研究調査資料。クリップどめの資料をめくって下さい。課長、館長連絡事項、それから Fjoy 主催のお化け屋敷もういいよ…」のチラシ、劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」のチラシ、社会教育委員事業評価表と北海道教育委員会広報誌、さらに図書館のキャラクター募集関係で1枚、それからちょっと厚めのA3のもの、マジックと音楽と絵本コンサートのカラー刷りのものになります。それから北見工大と美幌町

との包括的連携協定シンポジウム関係のチラシ、最後に野村主査から配った3枚のうち、1つは委員長が出席しました会議の報告事項とヤングケアラーについての資料、それとA4両面になっていますが部活動改革の資料ということで、たくさんの資料で説明する際に該当する資料を見つけづらいかもしれませんがご容赦いただければと思います。

以上で報告事項を終わります。

2 開 会 あ い さ つ

(牛島委員長)

それでは、開会にあたりましてご挨拶を申し上げます。

改めましてこんばんは。まだ暑い日が続いておりましたが、みなさんいかがお過ごしだったでしょうか。

先週木曜日、金曜日と3年ぶりに北海道社会教育委員長等研修会に出席してまいりました。ホテルから会場のかでる2.7まですごく暑かったです。後ほど簡単ですがけれども記憶に残るところを報告させていただきます。

今日はこの後、協議事項が3つあり中身、ボリュームもございますので精力的に会議を進めて参りたいと思いますので、この後よろしく願いいたします。

続きまして遠藤部長からご挨拶をいただきます。

(遠藤部長)

みなさまこんばんは。本日は時節柄大変お忙しい中、また夜分お疲れのところご出席いただきありがとうございます。

本日矢萩教育長が札幌市へ出張のため代わりに私から一言ご挨拶申し上げます。

新年度がスタートしてから早いもので3ヶ月が過ぎ、池田委員を迎えての初の会議となる予定でしたが、本日は修学旅行のため欠席でございますが今後ともよろしくお願い申し上げます。

北海道も暑い夏がやってまいりました。先ごろ、気象庁が発表した3ヶ月予報によ

りますと、道内の7月から9月の気温は例年より高めと予報されているようです。

現在もコロナ禍によるマスク着用の場面は多くありますが、こまめな水分補給を心がけるなど、熱中症対策を含めまして、体調管理には十分に気を付けなければならぬ時期でございます。

さてコロナ禍生活の3年目になりますが、感染状況は一喜一憂を繰り返す中、最近では全国的にも道内的にも感染者数が増加傾向です。一昨日12日に政府分科会の尾身会長は第7波に入ったと認識を示しましたが、行動制限は必要ないものとのことでした。

本町ではこれまでも感染対策の徹底と経済を回すといった観点から両輪の取組を進める中、先ごろでは美幌夏まつりが開催する方向に舵を切ったことが新聞報道されました。

ここ2年間、町のイベントをはじめとして社会教育事業におきましても中止あるいは規模縮小を余儀なくされております。しかしながら今後とも持続可能なまちづくりを推進するため、委員の皆様には引き続きご苦勞をおかけいたしますが、どうか本町の発展のためにご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

本日は3件の議案をご用意しております。どうか忌憚のない意見を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、いまだコロナ感染対策の制約が続きますが、どうか本年度におきましても皆様の活動が充実したものといたしますことを心からご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

(牛島委員長)

遠藤部長ありがとうございました。

3 報告事項

(1) 各種研修会出席報告について

(牛島委員長)

それでは議事に入ります。

報告事項1、各種研修会出席報告として令和4年度北海道市町村社会教育委員長等研修会を議題とします。

7月7日、8日に札幌で開催されましたが私が出席しましたので私より報告させていただきたいと思っております。簡単に協議のことは書き留めましたので報告になりませんけれどもお話させていただきます。

会場は札幌市かでの2.7でした。内容1日目は演題「市町村社会教育委員長に期待するもの、期待するということ」の演題で恵庭市元社会教育委員長の庄司さん。それから佐呂間町元社会教育委員長船木氏の対談というような形で、今まで経験したことも紹介する形でお話がありました。

いつも話題になっていますけれども、特に佐呂間町の船木さんの話は今年も話題になっておりました。2日目のグループ討議でも非常に話題になっておりました。

もうご存じだと思いますが、1つ目は佐呂間町の教育委員は18名おります。男性9名、女性9名。10代の委員もいます。佐呂間町の社会教育委員が中心となって「しゃべろ場」という高校生を対象にしたいいわゆる座談会というか、高校生の意見を色々聞いて意見を交流するという活動を続けられています。その経験者が町内に就職したことによって私も(社会教育委員を)やりたいということでお話がありました。

それから高校の校長先生以外は公募で自薦他薦あり、ただし選考委員会がありまして5名で構成されています。元教育長、社会教育委員のOB・OG2名、元町議1名、そして船木さんで選考していますが応募される方が多くて選考漏れになる方もいるようです。

そして自主研修を年間50回開催しております。これも会場でも驚かれていました。

それから恵庭の庄司さんがおっしゃってましたが、記録のないものは記憶にも残らない。それから全体会の会議のうち、車内で反省会などをいつもしているというお話をしておりました。記録のないものだとおっしゃったので終ってからレジュメを作ったところでございます。

2日目、グループトークになりました。私どものグループは3名、と本当は4名でしたが1名欠席でした。

利尻富士町の社会教育委員長の方と鷹栖町の社会教育行政の方、それと私の3人でした。先ほどお話ししましたとおり非常に盛り上がりました。どこのグループも身乗り出して色々なこと、自分の町のことを比べて私のところはこんなことしている、あんなことしているという話をお互いに出し合って非常に盛り上がりました。

その後、まとめで各グループが1分で報告してくださいということで私も報告しました。まとめの中で、私どものグループトークのチーフをやられていた方が話していたのですが、同じ話を聞いていても委員長と行政職という立場で聞き方も聞き取り方も違いますよね、と。委員長と職員の2名で出席するのが望ましいのではないのでしょうか。ということで、来年からはぜひ2名で参加してくださいと投げかけがありました。美幌からも2名で参加できればいいなと思っています。

それと蛇足なんですけど、今年は全道大会留萌大会がオンラインになりました。いつも2名ほどの委員の出席旅費を工面していただいています。オホーツクから佐呂間町の船木さんが出るということで、管内社会教育委員連絡協議会総会の中で是非、各市町村から多く出てくださいと委員長のお話がありました。美幌町でも複数名で参加したい、できないかということで検討しておりましたが、コロナの関係で各市町村から1名出席の通知が入りやむなく断念しましたけれども、ふたを開けてみたら滝上6名、網走5名、佐呂間3名、北見2名、雄武

2名ということでそれぞれ出席し、非常に盛り上がりました。色々な話、懇親会もオホーツク管内での懇親会も非常に交流が深まりましたし、それぞれの市町村の話が色々出て非常に中身の濃い会になったなと思っています。

本当に雑ばくで乱暴な話ですが、以上で報告を終わります。

何かご質問ございますか。

<質問なし>

(牛島委員長)

佐呂間の話は本当にいつ聞いても刺激的で、全道どこの委員さんも驚きを持って聞いておりますし、2日目のグループ討議でも非常にあちこちの班で話題になっていました。

以上で研修会報告に代えさせていただきますと思います。

4 協議事項

(1) 令和4年度美幌町社会教育委員の事業視察について

(牛島委員長)

次に協議事項に入ります。協議事項(1) 令和4年度美幌町社会教育委員の事業視察についてを議題とします。この件について、事務局から説明願います。

(山本主査)

事業施設につきまして説明させていただきます。

事業視察でございますが、前回の会議でも申し上げましたとおり、皆様にお取組いただくということでお話を承りました。それを受けてという形で方向性を決めていきたいところでございます。

資料1に事業視察可能な視察一覧表という形で、今回各課から事業等を挙げていただいております。こちらにつきましては、こによらずとも、他に良い事業が出てきましたらご視察いただくという形にしていきたい

とっております。

視察につきましては、グループ分けをさせていただきます、その後代表を決めていただきまして、グループリーダーの方に連絡を取り合ってください事業を視察いただくという形となります。

本日はグループリーダーを決めていただいてから視察事業を決めていただくという流れでよろしく願いいたします。

グループですが、過去に視察いただいた経緯を含めて、恐れ入りますが事務局で割り振りさせていただきますと思いますのでよろしく願いいたします。

本日欠席されている委員さんもうらっしゃいますので、少々話し合いが難しいなところもあるかと思いますが何とかカバーしていただければと思います。

グループについては口頭で発表させていただきます。

社会教育課ですが、茂手木委員、本日欠席ですが西谷内委員と、新任の池田委員のお三方。

スポーツ振興課ですが、牛島委員、辻委員、澤田委員、宮崎委員の4名でお願いします。

続いて博物館ですが、伊藤委員、空師委員、國澤委員のお三方。

最後に図書館は寺田委員、本日欠席ですが下山委員、そして酒井委員のお三方にお願いいたします。

このような割り振りで事業視察をしていただければと思っております。

事業視察の期間ですが、この会議終了後からとなりますが、取りまとめもございませんので基本的には来年1月の会議までの期間で行いたいと考えております。

ただし、期間は一応区切りますが、視察を希望する事業が2月もしくは3月に開催される場合は、事業視察とは別にご覧いただく形がよろしいかなと思っております。その分につきましても、よろしければその事業者の結果について、シートを使って評価いただきたいと思っております。

評価表について、クリップ留めした資料がございます。評価表ですが、中身を確認させていただきます、基本的事項について書かせていただいております。

事業視察の視点ということで5段階評価にしております。段数が少ないと評価が難しくなるため5段階評価にしております。各個別にこちらの表に書いていただきますので、お名前と視察事業名を記載いただきこちらへご提出いただければと思います。

提出につきましては各リーダーのところにお集めいただきまして、社会教育課へ提出いただいても構いませんし、各個別にいただくケースもございますが、各個別に社会教育課にお届けいただくことでも可能です。

こちら毎回お話をさせていただきますが、この評価表についてデータでいただきたい場合がございます。データをお渡しすることも可能ですので、メール等いただければ、そちらに添付させていただければと思います。ただUSBはセキュリティの問題でやりとりできませんので、ご協力いただければと思います。

紙の場合はファックスでも構いませんし、町民会館へご用事の際に一緒に置いていただく形でも構いません。もちろん、取りに来てほしいということであれば直接取りに行きます。

中身は野村主査にも確認いただき、ちょっと見直しをとということもありましたが、基本的にはこの評価表自体は基本的な部分をお聞きするということですので、大きな見直しをせずに特に何か記載したいことがあるという場合には自由記述欄の方にお書きいただくということでもよろしく願いいたします。

この後各グループに分かれてご協議をお願いいたします。それではグループごと、各課にお分かれいただきたいと思いますが、席と机を移動すると大変ですので、できれば現在の席をそのまま使っていきたいと思っております。できれば社会教育、スポ

一ツ、博物館、図書館の各課に分かれてという形でお座りいただければと思います。時間については7時15分までにお決めいただければと思います。

各リーダーと視察する事業名をお決めいただくということでよろしく願いいたします。

(牛島委員長)

視察の本数は決まっていますか？

(山本主査)

視察の本数は特に決めておりませんが、できれば2本から3本、複数の事業を視察いただければと思います。

(牛島委員長)

複数ということは2本以上ですね。

(山本主査)

そうですね。

(牛島委員長)

わかりました。

<各課ごとに分かれての話し合い>

(山本主査)

それでは恐れ入りますがお決まりになられた事項について確認をさせていただきます。

社会教育課から茂手木委員よろしく願いします。

(茂手木委員)

私1人しかいないため、必然的にリーダーになりました。視察内容としましてはおもしろキッズ共和国の親子で見上げる星空観賞会が8月27日土曜日の夜。初めて行うとのことだったので、興味津々です。もし興味のある方がいらっしゃいましたら、別に視察ということでお越しいただければと思います。

もう1つ、美幌町文化祭ということで各展

示物等の見学の後、発表等を見させていただければと思います。発表等についても名札を付けていれば自由に出入りさせていただくようなことを許していただければと思っておりますのでよろしく願いいたします。

演劇ひろばは視察ができないかなということで、最終的に3月5日に発表があるということで都合がつけば観に行ければと思います。

(山本主査)

続いてスポーツ振興課、よろしく願いいたします。

(宮崎委員)

グループリーダーは宮崎になりました。よろしく願いします。

視察は3つ決めました。中3・高校生トレーニング教室、健康寿命アップ講習、もう1つがサタスポです。みなさん予定まで3つ決めてそれぞれ行けるもの視察へ行こうとなりました。

(山本主査)

続いて博物館、よろしく願いいたします。

(國澤委員)

國澤がリーダーをやらせていただくことになりました。よろしく願いします。

ここは私の都合が合わず、他の方に都合を合わせていただいての記載となってしまうが、3人でぜひ行きましょうということで日程を決めさせていただきました。

1つ目が9月10日の「町の色で描く型染パネル」、11月12日の「世界が注目するシベリア北極圏の旧石器文化」、この2事業に行きたいと思います。

この他9月にみなさんで集まった時に他にも行きたいものがあれば行かせていただくということになりました。

(山本主査)

最後に図書館、お願いいたします。

(酒井委員)

リーダーの酒井です。よろしく申し上げます。

視察はここにチラシのあるマジックと絵本のコンサート、9月25日に公式キャラクターの表彰のあるとのことですので、図書館70周年記念フェスティバルに参加したいと思います。最後に10月15日のレコードコンサート、私と寺田委員がロック好きなので行こうと思います。

(山本主査)

みなさまご協議いただきましてありがとうございました。今回ご協議いただきました内容につきましては事務局で一覧をまとめさせていただき、ご提示出来たらと思いますのでよろしくお願いいたします。

視察につきましては視察表を使っていた、視察終了次第どんどんチェックシート、評価シートをいただければと思いますので、最終的には取りまとめて、3月に皆様の方にこんな結果でしたという一覧のものをお渡しできればと思いますのでよろしくお願いいたします。

ご協議いただきましてありがとうございます。以上です。

(牛島委員長)

ありがとうございます。

なお事業の視察については、事業の見直しということもあります。改善ということ年頭において、見ていただいておりますので再度確認させていただきます。ぜひ前向きな意見を含めていただければなと思いますのでよろしくお願いいたします。

管内的に見ても私どもの事業視察というのは、何年か前に斜里の大会で紹介した際に非常に注目していただきまして、素晴らしい中身だと思ってますので、ぜひ継続的にしておりますのでひとつよろしく申し上げます。

以上で協議事項、令和4年度美幌町社会教育委員の事業視察についてを終わります。

ここで社会教育課長以外の課長におかれましてはご退席いただきたいと思います。

(2) 令和4年度美幌町社会教育委員の研究調査について

(牛島委員長)

次に協議事項(2)、令和4年度美幌町社会教育委員の研究調査を議題といたします。この件につきまして事務局より説明をお願いいたします。

(野村主査)

協議事項(2)、令和4年度美幌町社会教育委員の研究調査についてご説明申し上げます。

昨年までの研究調査では、こちらの第8次中期計画の策定に取り組んでいただきましたが、今年度からはこの計画の推進にあたり、どのような視点を持って進めていくのかという観点から研究調査を進めていきたいと思っております。こちらにつきましても、前回の会議で取り組むということでご確認をさせていただいておりますので、今回その中身についてご提案したいと思います。

今日お配りした資料の中で、クリップ留めしている資料2と書いた資料をご覧くださいながらご説明、ご提案させていただきます。

今年度調査研究の内容案といたしまして、今回第8次中期計画推進目標の3項目目である「多様性を尊重した学び」に着目し、多様性とは一体何なのかということについて、調査研究を進めていきたいという提案です。

テーマ設定の理由としては、今ご覧いただいている資料にも記載のとおりなのですが、一言で多様性と言っても様々な切り口があり、つかめていない部分が多いこと。それともう一点は、今後の世の中の流れを見たときに、この多様性がかなり重要視され

てくると考えており、今後社会教育行政の中で進めていく事業の改善や、新たな取り組みを構築するにあたり、現状を理解した中でどういう方向性が望ましいのかというところを、我々行政と社会教育委員の皆様が共通認識を持った中で進めていくということで、この推進目標としての多様性を尊重した学びの実現に向けた一助としたいと考えております。

正直ちょっと難しいかなと思いますが、この多様性ということがどういうことなのかを少しでも皆様につかんでいただければと思います、今回テーマ案としてご提案させていただいております。

研究調査のスケジュールですが、本日もご提案をして、これをご了承いただければ、この後、多様性という言葉の持つみなさんのイメージを確認させていただきたいと思います、先ほどと同じように情報交換というか、グループワークをさせていただきたいと思っております。

10月には研修会を予定しており、多様性というテーマがあるかわかりませんが、外部の講師をお招きしてお話を聞く機会を設けたいと思っております。

皆様から出されたご意見等につきましては事務局でまとめさせていただいて、3月の教育委員会に研究調査報告書を提出することで予定しております。資料にも記載のとおり残り任期が1年を切っていますので、短期間かつ限られた回数の中での研究調査となりますが、私たち行政を含めて皆様と一緒に学びを深めていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひします。

(牛島委員長)

この内容で進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

<異議なし>

(牛島委員長)

中期計画を作るときに非常に話題になっている、ちょっと頭を悩ませた中身ですが、ただいま野村主査から説明があったとおりですので、何とか私たちも学習し積み上げて、この多様性について共通理解する中で考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

それでは引き続き説明をお願いいたします。

(野村主査)

それでは皆様にご了解いただきましたので、今ご覧いただいている資料の裏面をご覧いただきたいと思います。資料2の裏面でございます。

これからグループワークを行いますがこの前に、酒井委員が今年度から社会教育委員に就任されましたので、この多様性という言葉について社会教育委員会議の中でどのような話がされてきたのかということから経過説明も含めて振り返ってみたいと思います。

口頭で説明させていただきます。この多様性という言葉にたどり着くまで、最初は令和2年度に遡るんですが、この第8次中期計画推進目標を決めるための話し合いの時から始まりまして、この点については社会教育委員の皆様方からたくさんの意見を頂戴した項目でもありました。

令和2年12月の会議では、この多様な立場の方々への支援ということで、ここでは障がいを持たれた方や、外国からいらっしゃる町内にお住いの方への学習支援等がどうなっているのかですか、いわゆるデジタルとアナログということで、学習を提供する手段の多様化みたいところが話題として出ていて、こういったものを尊重することが自己肯定感の向上につながったり、個人個人の居場所づくりにつながっていったりといった議論がなされていたと記憶しています。

そして令和3年1月の第5回目の会議、それから令和3年3月の推進目標を提示した際の話し合いにおいて、ここに記載の中身

が議論されておりますが、こうした議論を踏まえまして、その表現を含めて皆様と事務局で悩みに悩んだ末、中期計画の推進目標としてこの「多様性を尊重した学び」という項目が設定されたというのは、みなさん記憶にまだあるところかと思えます。

国においては平成30年に閣議決定された第3期教育振興基本計画の中で、一人ひとりが多様な個性や能力を伸ばすこと、個人や社会の多様性を尊重するといったことを目指そうということが方向性として示されております。また、一昨年の中央教育審議会の答申でも多様な主体の協働、協力して動くという協働という表現が用いられています。

この多様性という言葉ですが、ほかの自治体の社会教育計画で使われているかを調べてみたところ、近隣では清里町では多様性を認め合うという言葉が使われていたり、佐呂間町では中期計画のキーワードで多様性が取り上げられている他、夕張市や南幌町などでも多様性といった言葉が出てきており、先ほどご説明したとおり今後の世の中の動きを見たときに、多様性と言いますか多様化に対応することはひとつの大きな流れになっていくだろうと思えます。

では、辞書的な意味で多様性というのは何なのかということ資料に記載しております。資料に記載のとおり、異なる性質のものが存在すること、異なる性質のもの同士をある一定の組織やグループに含めるといったことを指しています。

皆様もテレビや報道等でもご存知だと思いますが、いい悪いは別として近年ではこの多様化という言葉が女性の活躍推進とか、男女平等の観点からこの言葉が使われていることが多くなっています。

多様性は英語にすると、ダイバーシティという言葉になります。ダイバーシティマネジメントとかダイバーシティ何とかという言葉が結構使われています。女性の活躍や男女平等の観点からこの多様性という言葉が用いられて、例えばその女性の管理職

の割合を増やす取り組みが進められたりしています。

また昨今では、みなさんお聞きになったことがあると思いますが、「LGBTQ」という言葉があります。いわゆる性的少数者です。性的マイノリティーと言うのでしょうか。このことが大変注目されていて、こうした方々の意見や考え方などを取り入れていこうとか、これまでどちらかというところといった価値観をなかなか表現することがはばかれるような感じだったのですが、昨今のインターネット技術の普通などと相まって、表に出てこなかった方々も声を出してみんなが暮らしやすい世の中にしていこうという動きが広まっていて、こうした動きもいわゆる多様性を高める動きの一つとして捉えることができるのだらうと思っております。

一昨年に、社会教育中期計画を作る際に北星学園大学の河野和枝さんとオンライン研修した時に、「誰一人として取り残さない社会の実現」がこれからの社会教育における学びのキーワードになるとお話をしていた記憶があつて、誰一人も残さないといった取組が行政として回答に困る部分もありますが、今回の中期計画の推進目標でもあります多様性を尊重した学びは、今後の諸活動や社会教育事業を考えるうえで大変重要なポイントになるのではないかと考えております。

皆様の議論の中では、先ほど申し上げたように障がいを持った方ですとか、外国からいらっしゃった方ですとかそういった部分の多様性というようなことが話として出ていましたが、多様性と言っても資料にも一行で申し訳ないですけど内的側面や外的側面、組織的側面ということでいろいろ分かれているようです。

内的側面は、自分でどうにかできないもの、あるいはコントロールできないもの、例えば、人種、年齢、出身地、性的指向等。外的側面は、他人や周囲の環境に影響されて変化するもの、例えば趣味、家族構成、外見、信仰している宗教や交際の状況

等。

それともう一つは組織的側面ということで、私たち一人ひとりがその組織を構成し、組織の中で割り当てられた違いです。例でいけば、勤務地、経営形態、雇用形態、給与形態や職務上の地位、例えば部長、課長、係長のような職務上の地位といったものが多様性を指すひとつの側面として考えられているようです。

これからちょっとだけグループワークということで、短い時間ではあります、皆様の持つ多様性の言葉のイメージをざっくばらんに出していただきたいと思えます。以前と比べて世の中色々多様化してきているな、というようなお話も含めて、今日で何かを決めるということではありませんので、自由にお話していただければと思います。

我々が今後研究調査を皆様と進めていく中で、エッセンスとなる部分をお聞きできればと思っております。難しいかもしれませんが、多様性ということを知ってイメージすることをざっくばらんに意見交換していただきたいと思えます。

ちなみに社会教育課では今現在、多様性という部分を意識した事業ということで、町長の重点施策である多文化共生推進事業があります。

こちらは、町内の事業所に在籍している外国人技能実習生に対して日本文化を体験してもらって、美幌町の良さや日本のすばらしさなど体験してもらおう事業を実施しております。

令和2年度から取り組んでおり、令和2年3年とJAびほろに在籍するベトナム国籍の外国人技能実習生が、生け花や絵手紙、和太鼓演奏、日本舞踊、着付けなどの体験をして大変喜んでいただいております。その場でスマホで撮ってすぐに母親にメールで送ったりされるということもありました。

今から20時までと短い時間ではあります、今から申し上げるグループに分かれていただき、意見交換をお願いします。

まず、牛島委員長、伊藤委員、茂手木委

員、國澤委員の4名。空師副委員長、酒井委員、宮崎委員、寺田委員の4名。委員長側に私が、副委員長側に山本主査が入ります。課長と部長にもそれぞれのグループに入っていただき、一緒に意見交換ができればと思っております。みなさんご協力をよろしく願いいたします。

<二班に分かれてグループワーク>

(野村主査)

発表します。こちらのグループでは、多様性の言葉のイメージとして率直に思うのはまだまだ身近なものになってない。言葉で言うのは簡単だけど、自分たちの意識も含めてまだまだ身近なものになっていて、日常化されていないという話が出ました。

その理由としては、そういった方々となかなか接する機会がないということもあります。そのため、子どもの頃から意識していく必要があるだろうと思えます。その生活の中で身に付けておくとかそういう考えをきちんと持つておくことが必要だと。やっぱり大人に対してどうなんだろう、大人こそ価値観や先入観で、最後の方の意見で色眼鏡で物を見ていないかということもあり、異なるものを排除する傾向があったけど、そういう価値観を最後には取り除く。これには時間がかかるという意見が出ていました。

つまるところは自分以外の人を受け入れること、理解すること、自分と異なる価値観、同じ悩みを持った人同士が仲間づくりができるような環境こそが多様性の解決するための一つの道ではないかという意見です。

答えがわからなかったですが、多様性の対義語が何なのかということもわだいなになりました。多様性の対義語、そういう軸で見えていなかったのの後ほど調べておきますが、その多様性の対義語は何なのかということからひも解いてみるとまた違った視点で見えるかもしれません。

様々な考えがあり正解がないので、本当に自分で答えを見つけていく時代になっていることが、多様性ではないかという意見も

ありました。

(山本主査)

副委員長以下、4名で熱い議論を交わさせていただきました。まず、野村主査がお話した内容をベースに最初スタートしましたが、今まで従来の多様性とかをまとめようとしたときに、ある種決まった枠の中に引き入れようという考え方があったのではないかと。

一つのグループにもうみんな入っている形にしていたのではないかと、それが平等な皆でやりましょうという形だった気がしていたが、実はそうじゃないのではないかと。

この中に決められた枠の中に入ってくる人は実は苦しい思いをしていたのではないのか。これは実は多様性を解決する策ではなくて、多様性を何かごまかそうとしている縮図だったのではないかという話が出ました。

なので、これからの多様性というのは多様性というものを何かという限定するわけじゃなくて、多様性に対応していく組織というものがどういうものなのかと考えたときに、多様性の色々な枠がある中、小さいグループがある中にまたぐっと広がっていく。あるだけのところをぐっと囲っていけるものが多様性の枠なのだと考えるというのが1つの意見でした。

このような大きな輪を形成していくために何が重要かという話をした中で出てきたのが、社会教育と言えはやはり人と人がどのようにつながっていくかということと考えたときにはやっぱりコミュニケーション、人がどのようにコミュニケーションを取っていくかということが一番根底にあるのではないかと。認め合うということをコミュニケーションによって、こういうものをこういう幅広い組織を形成していくということが大事なのではないかという意見もありました。

ただ、これももうひとつ社会教育の根底にある究極的な課題として社会に出るカギをそれぞれが持っているかということが非常に難しいのではないかと。つまり、社会に

どうやって人が出ていくのかということを考えていかなければいけない。そこでやっと幅広い組織化、組織の中に出てきて多様性をみんなで分かち合おうと工夫することができるというお話であります。

社会のカギは自分で持っていて、しかもその社会への扉は自分からしか開けられないのではないかと。人が無理矢理こじ開けるものじゃないかというお話がまさにそとおりだと思っただけで社会教育の一番の問題は、無理矢理人を出すことはできるかもしれないが、そうではなく主体的に自分からドアを開けてその大きな組織の中に行くと、大きなコミュニケーション、社会の中に出ていくことが重要ではないかというお話がありました。

これがまず根底にあって、これをクリアできたからこそ、多様性というものへの対応ができていくのではないかというお話です。

それができて、人、場、状況とかいうものの広がりがあった中で、色々なものをマッチングさせていく中で、多様性というものをクリアしていくというか、お互いに暮らしやすい生活を作っていくというのが重要ではないかという話が4名から出ましたので、私が代弁させていただきました。

(野村主査)

ありがとうございます。難しいですね。一言では言い表せない難しさがあると思いますが、それぞれの発表を聞いて、何かこの辺どうだったんですかというのがあれば、お聞きしたいことがあればぜひ聞いていただければと思います。

社会から出るカギというのは壮大なテーマですね。

(山本主査)

究極としてどれだけ社会教育に参加してもらおうかというのが課題であったと思います。

色々な諸事業とか含めて、社会にどうやって出てくるのかということがやはり根底にあり、これを解決しなければ先に進まないということがあるだろうというのが共通の認識

であって、その後に性別、国籍、障がいの有無とかの部分認め合う土壌があれば、そこでクリア出来ていくのではないかというのが皆さんのお話かなと思います。

(野村主査)

深いですね。何か皆さんお聞きしたいことありませんか。

(牛島委員長)

今回の話をまた事務局でまとめていくんですよね。1つ土台となる話し合いが。

(山本主査)

もちろん、これまでどおり積み上げていきます。

<質問なし>

(野村主査)

やはり社会教育だけで出来ることと出来ないことがどうしてもあると思います。こちらの班でも出ていましたが、もちろん行政の中の色々な組織もそうですし、色々な団体、色々な方々とつながりながら、そういうことを考えていくことが必要だと考えます。

今言ったように多様性について両グループの話を聞いた中では、まだまだ身近なものになっていないことは紛れもない事実だと思いますので、まずは今年度の研究調査の中で社会教育委員の中で少しでも身近にその多様性ということ意識とか捉えていきながら、今後事業を進める当たって、本当にそういう視点、事業ができていくのかということにも着目しながら、少しでも身近に考えられるような一つのきっかけになればいいなと思って2つの発表を聞いていました。

時間が過ぎてしまいましたが、以上で終わりたいと思います。改めてお互いの発表に拍手ということでまとめます。

なお、今後につきましては継続案件ということで考えておりますので、次回以降の会議でも継続調査ということで取り組んで

いきますのでよろしくお願いいたします。

5 その他

(牛島委員長)

次にその他に入ります。事務局より報告をお願いいたします。

(野村主査)

今日配布した資料3に各館長、課長から連絡事項ということで、図書館から図書館70周年キャラクターの名称募集ということで、現在募集中です。町民会館事務室にも応募箱がありますので、ご投函いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

次にスポーツ振興からの資料、北見工業大学と美幌町との包括的連携協定締結の関係のキックオフシンポジウムが7月30日に町民会館で開催されます。宮崎委員の娘さん、宮崎真衣さんがトークセッションのパネリストとして登壇されますので、時間がある方は是非足を運んでください。

連絡事項で主だったものは以上となります。

(山本主査)

劇団四季ということで「人間になりたがった猫」という題目です。こちらについては、令和2年にこころの劇場という形で小学5、6年生を対象としたミュージカルという形プラス、ファミリー劇場という形の一般公演で呼びする演目でした。

ご存じのとおりコロナの関係で今年度仕切り直して、こころの劇場自体はありませんが、ファミリーミュージカルということで、皆様方に見ていただける機会ということで、文化連盟さんと実行委員会で運営させていただき呼びさせていただきます。

10月4日公演になります。チケットは後ろの方に7月31日からと書いてありますが、美幌町先行発売と小さく下に書いてありまして7月24日、日曜日のみの先行発売をさせていただきます。

町内先行発売なので、町内の販売所に来ていただければ町外の方にも販売でき

る形です。なお、町民会館で販売開始を行い、午前中を中心に文化連盟の皆様にもご協力をいただきまして、皆様方にご提供できればと考えております。

内容も劇団四季から非常に人気の演目と伺っています。絵本とか本をご一読いただいた方もいらっしゃるかもしれませんが、素晴らしい内容と聞いております。

舞台設備の話をするとなら後で楽しみにされている方もいらっしゃると思いますが、高い所からワイヤーを吊って、そこを人が渡る、みたいな話も聞いております。

素晴らしい舞台セットと、一流のミュージカル俳優がいらっしゃるの公演となりますのでぜひ足を運んでいただきたいと思っておりますし、ファミリーミュージカルということで高校生以下の方の料金が安くなっております。

そういった部分を文化連盟と協議させていただき、また劇団四季とも協議させていただいて劇団四季の方の値段設定もあり、本当はこの金額での公演はあまりないですが、美幌町の補助金を入れて何とか美幌町の皆様を中心にご覧いただきたいということでこの値段にさせていただきました。是非お子様連れで来ていただければ嬉しいですし、子どもの頃から本物を観るということは非常に大事だと思っております。詳しくはチラシをご覧いただければと思いますが、チラシのデザインも劇団四季でされたものです。

(牛島委員長)

全席指定です。枚数制限がないので良い席を取っていただきたい。良い席から埋まっていくので早めに購入をお願いします。見た方は、とても良い中身だと言っていました。何回も繰り返し上演されている演目ですので、お見逃しなくと思います。

(牛島委員長)

私の持込資料がちょっとあるんですが、1つは私の勤めている学校で配られたのですが、ヤングケアラーとは何だということで、今話題になっています。社会現象ですごく

困っているからと児童生徒向けの資料ですが、美幌でも配られるのかなと思いつつ、皆様に分かっていたらいいなと用意しましたのでご一読いただければと思います。

それから、来年から中学校を中心に小学校も高校も関係しますが、部活動の地域移行ということが始まります。国ではすでに決まっています。

まずは土日の休みの時、祝日を含めて地域に移行していくということで、地域の指導者にスポーツ関係、文化関係の方ということで、学校教育の方で色々話をさせていただいて詰めているようですが、スケジュールもいただいて令和2年からずっと動いているけどなかなか手を付けられない状況です。網走市でも今年になって教育委員会、校長会等々が動いて研究を重ねているところで、美幌町の教育委員会でも今検討している。

ただ、外に出てくると学校教育だけではなくて社会教育にも関わってきて、私たちも関わりを持たないといけないのかなということが出てきます。きっとスポーツ関係はスポーツ協会にもご相談があるのかなと思っておりますし、文化関係では文化連盟の方にもご相談があるのかなと。

町によってはそういう環境の代表の方が一堂に会して相談を進めている町もありまして色々な形、正解はないですが各町で研究を今積み上げているところです。ただ、待たなしに来年度から始まるということだけは決まっていますので、皆様もお含みいただくとともに情報があれば共有いただいて、社会教育の中でも困っているみたいなことでも良いと思います。

私たちの身分としては地域の中のアンテナになることということもあります。色々な情報が入った時に、それぞれのお話をいただいて、一人ひとり社会教育委員という立場で委員会にお話しできる立場です。教育委員会も私たち委員の話を聴かなければいけないということもあります。是非話

のしやすいところで私たちには、力強い社会教育の課長、主査もいらっしゃいます。ざっくばらんにお話いただきながら、美幌版のそういう形を作っていかなければならないと思っております。ご承知おきとともにご理解をいただいてご協力いただければと思ひまして、今日ご紹介させていただきま

した。
この他、委員の皆様から何かありませんか。

(寺田委員)

美幌高校の校長先生もいらっしゃいますが、高校生の部動も人数がだんだん少なくなり、活動することが難しくなってきた、野球では合同チームみたいな形で行うと聞いております。

小学校は少年団というものがひとつあると思っておりますし、中学校の部活動もありますが、やはり人員が変わらないということで中学校でしたら一緒にやっていくこと等が出てきたりするでしょうし、部活動自体が縮小されて色々な趣味ができなくなってくると思っていますので、これはこの働き方改革という先生側の立場を言ってるだけではなくて、子どもたちがやっぱり色々な多様性を持った、子どもたちを守り育てていく大人として、色々な部活動を維持したり、活動ができるよう支援していければ良いなと思ひています。余計なことかもしれませんが。

(牛島委員長)

そのとおりでと思います。町の方でも予算も含めて人材発掘、確保、謝礼等の予算を付けるようにと国からも言われております。町長も先日やるということでは言っておりましたので、そういうことも含めて美幌町でも前向きに相談していただいているなと思ひます。

今出ましたけど、野球の合同チームがありますけど、網走では学校の中にもサッカー部があるけど学校の部活に入らないで地域のクラブチームに入って活動している子もいるんですね。野球もそうなんです

が、そういうチームも近いうちに中体連への参加を認めるというようなことも言ってます。

(遠藤部長)

新人戦からですね。クラブチームの参加を認めるのは。

(牛島委員長)

そういう流れになっていますので受け皿となる開催者、例えば中体連や高体連、高野連とか、吹奏楽などもまだまだ追いついてないんですよ。どういうふうにしてその大会を運営し、どういう子どもたちを参加させるものにするかということは今一生懸命話し合ひていますが、まだ形になってません。話題にはなっているのですが、やはり後ろから追いかけている感じですが、そういうことでも変わってくると思ひますので部長にも精力的に動いていただければと思ひます。

(遠藤部長)

補足ですがこの働き方改革、誤解されがちで先生がこれで楽するんだと思われがちですが、子どもたちとの向き合う時間を少しでも取りたいというのが大義名分です。

国の、スポーツはスポーツ庁で、文化は文化庁で、それぞれ国の方で動いていまして、間もなく文化庁も素案が出来上がります。美幌町も今は網走と同じように校長会とかにも現在働きかけてまして、できることからやろうと。幸い美幌町は組織がしっかりしていますので、お金の面とかクリアしなければいけないことはありますが、もう待たないでやらなきゃいけないので令和5、6、7年度でやって、8年度から本格的にみたいな動きがあります。

ただ中体連も追いついていなくて、もうすぐ物はできるみたいですが11月位に本当の中体連の考え方もできるそうなんですけど、スポーツだったらクラブチームに移行して等色々話があるそうです。

そして、土日に関わっていただきますので報酬の面とか色々なことが出てきますが、現在学校教育課が窓口になって、それぞ

れスポーツと文化と歩み寄りながら地域全体でやっていこうという手探りの状態です。正解はないですが、幸いそういう組織がしっかりしているので、本当に皆様のご協力で進めていきたいと思っておりますので、今後もこのような機会で見聞交換していきながら、無理な押し付けでもここに進めていかなければならないとなっておりますので、ご協力いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

(牛島委員長)

部長ありがとうございました。

このように進んでおりますので、ご理解をいただきながら、バックアップをよろしくお願いたします。また、先ほど言いましたが、色々な声がありましたらぜひ届けていただければと思います。

(宮崎委員)

先ほど娘のことを話題に上げていただいた続きですが、このシンポジウムに美幌高校に来て、スキー部を新しく作っていただいた外部コーチと一緒に協力しながら何か新しい形で校長先生と先生方で考えてくださって進んでいますので、モデルになるのかなとちょっと思いました。そして全国目指して、このパネリストの他にも出ませんが男の子4名もいますし、全国目指している男の子も女の子もたくさんいますので、よろしくお願いたします。

美幌高校なんですけど、娘を行かせていただいたのですが、地元ということで思っていたよりすごく良くて、それこそ多様性を持った子たちがいっぱいいるんですが、個別に先生たちが本当にやって下さっていて、来年度の進路を選ぶのは中学3年生なら今7月なんです。是非本当にいいよということで皆様で美幌高校を応援していただければと思いますのでよろしくお願いたします。

(牛島委員長)

うちの子2人も美幌高校だったけど、皆

様是非お願いたします。パラリンピックに出た久保さんも美幌高校ですしね。

(宮崎委員)

地元でできると思います。色々なことが。

(牛島委員長)

これから、素晴らしいものを作ってほしいなど。茂手木委員、何かありませんか。

(茂手木委員)

特にありません。言っていました。是非野球部の復活をお願いたします。

(牛島委員長)

はい。ありがとうございました。ちょっと時間が押ししましたが、中身は非常に濃かったと思っております。

最後に次回の会議について事務局よりお願いたします。

(立花課長)

本日は、長時間にわたり熱心なご議論をありがとうございました。

美幌高校つながりで私も美幌高校出身ですが当時、部活がなかったんですが、同好会という形で認めていただいてインターハイまで行くことができたという経験があります。

(牛島委員長)

課長スケートですもんね。

(立花課長)

先生がついていけなくて、選手2人で飛行機で大会に行ったという無謀な行動をしたことがありました。

(立花課長)

本当にそういった多様性という部分で色々なことを認め合うという非常に難しいテーマを話し合ってください本当に感謝を申し上げます。入口ということでこれから本場の議論になると思いますが、よろしくお

願いいたします。

次回会議につきましては、11月24日、同じ時間ということで考えております。状況により変更もありますが、現在のところそういった予定をしております。

先ほどの多様性の研究調査については10月頃に研修会を開催したいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

また、次回会議の議題としましては、令和5年度の事業計画とその研究調査についてです。研修会、会議ともにまだ先の話ですので、改めて開催の案内をお送りしたいと思いますので、今のところ仮の予定ということで後日文書で確認いただければというふうに思います。

それから事業視察等々で後になることとなりますが、体調管理に気を付けながら取組をしていただければと思います。以上、よろしく願いいたします。

(牛島委員長)

なお、前回の会議でもご案内しましたが、管内の振興セミナー、今年は小清水町で日には決まってませんがたぶん11月、北見斜網ブロック研修会が清里町で10月2日です。ご案内をさせていただきますので、是非時間のやりくりをして出席いただいて、自分たちが社会教育で色々と活動しておりますが、他市町村の様子を聞くことによって、自分たちのやっていることと他でやっていることを比べたり、色々学びも多いので是非時間を取って、研修会にご出席いただければと思っておりますのでよろしく願いいたします。今立花課長からお話がありましたとおり、次回会議は11月24日木曜日、18時30分からこの会場を予定しておりますので今から予定を合わせてご出席いただければと思います。

本日は出席が少なく残念でしたが、できるだけ時間を合わせてご出席いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、令和4年度第3回美幌町社会教育委員会議を終了いたします。みなさま大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

【閉 会】